

黄泉こうせんに趣おもむくのみなり、己おのれに随したがい行くは只是ただこ

れ善ぜん悪あく業ごう等とうのみなり。今いまの世よに因果いんがを知らず

(第四通)

業報ごうぼうを明あきらめず、三世さんぜを知らず、善ぜん悪あくを弁わきま

えざる邪見じゃけんの党とも侶がらには群ぐんすべからず、大凡おおよそ因

果がの道理どうり歴然れきねんとして私わたくしなし、造悪ぞうあくの者ものは墮おち

修善しゅぜんの者ものは陞のぼる、毫釐ごうりも忒たがわざるなり、若し

因果いんが亡ぼうじて虚むなしからんが如ごときは、諸仏しよぶつの出世しゅっせ

あるべからず、祖師そしの西来せいらいあるべからず。善ぜん

悪あくの報ほうに三時さんじあり、一者ひとつには順現報受じゅんげんほうじゆ、二者ふたつには順次じゆんじ

生受しやうじゆ、三者みつには順後次受じゆんごじじゆ、これを三時さんじという、仏ぶつ

祖その道どうを修習しゅじゆするには、其その最初さいしよより斯この三時さんじの

業報ごうぼうの理りを効ならい験あきらむるなり、爾しかあらざれば

多く錯あやまりて邪見じゃけんに墮おつるなり、但ただ邪見じゃけんに墮おつ

るのみに非あらず、悪道あくどうに墮おちて長時ちやうじの苦くを受うく。

当まさに知るべし今生こんじやうの我身わがみ二つ無なし、三つ無なし、

徒いたらに邪見じゃけんに墮おちて虚むなく悪業あくごうを感得かんとくせん、惜おし

からざらめや、悪あくを造つくりながら悪あくに非あらずと思おも

い、悪あくの報ほうあるべからずと邪思じゃし惟ゆいするに依より

て悪あくの報ほうを感得かんとくせざるには非あらず。

(第六通)